

○ 変遷

明治 12 年 (1879) 7 月	開港虎列刺病伝染病予防規則公布 (我が国の検疫制度の始まり)
明治 30 年 (1897) 4 月	伝染病予防法公布 (野口英世、横浜海港検疫所検疫医官補に任ぜられる)
明治 30 年 (1897) 7 月	臨時海港検疫所実施港の指定 (那覇港) が指定される。
明治 32 年 (1899) 2 月	海港検疫法公布 (海外から来航する船舶に対する恒常的検疫制度の確立)
明治 33 年 (1900) 3 月	那覇臨時海港検疫所 開設
大正 2 年 (1913) 6 月	那覇臨時海港検疫所 閉鎖
大正 8 年 (1919) 8 月	那覇臨時海港検疫所 開設 (沖縄県では大正 8 年～9 年 2 千名余のコレラ患者発生)
大正 10 年 (1921) 2 月	那覇臨時海港検疫所 閉鎖
昭和 21 年 (1946) 1 月	沖縄県行政分離
昭和 27 年 (1952) 4 月	琉球政府 創設 (米国民政府は日本国籍船舶のみの検疫実施を許可)
昭和 28 年 (1953) 9 月	那覇検疫所、名瀬検疫所 (鹿児島県奄美大島 現在の奄美市)、 平良検疫所、石垣検疫所を設置
昭和 29 年 (1954) 9 月	名瀬検疫所を廃止し日本政府に継承
昭和 30 年 (1955) 5 月	那覇検疫所に渡久地出張所 (沖縄県国頭郡本部町、運天出張所 (沖縄県今帰仁村)) を設置
昭和 35 年 (1960) 3 月	那覇検疫所に泊支所を設置
昭和 36 年 (1961) 7 月	那覇検疫所に那覇空港支所を設置し、11 月から検疫を 開始
昭和 37 年 (1962) 12 月	琉球機構改革により那覇検疫所を琉球検疫所に改称し 4 支所 (泊支所、那覇空港支所、宮古支所、八重山支 所)、渡久地出張所及び与那国駐在所の設置組織統合 を図った。
昭和 40 年 (1965) 5 月	米国民政府令並びに布告により実施してきた検疫が琉球 政府の法体制のもとに実施することになった。
昭和 42 年 (1967) 4 月	石垣港湾完成
昭和 47 年 (1972) 4 月	沖縄県復帰に伴う厚生省関係政令の改廃に関する政令 公布本所の設置＝那覇検疫所 (庶務課、検疫課、衛生課)、 支所の設置＝那覇空港支所 (庶務課、検疫衛生課) 出張所の設置＝金武出張所、中城出張所、泊出張所、平 良出張所、石垣出張所
昭和 47 年 (1972) 5 月	那覇検疫所に食品衛生監視員を駐在させ、食品等の輸入窓口を 開設
昭和 48 年 (1973) 11 月	泊出張所を廃止
昭和 50 年 (1975) 4 月	平良出張所を事務官 1 名体制とした。

昭和 51 年 (1975) 4 月	石垣出張所を技官 1 名体制とした。
昭和 51 年 (1976) 4 月	那覇検疫所庶務課は総務課となる
昭和 54 年 (1979) 6 月	金武出張所と中城出張所を統合し金武・中城出張所となる。
昭和 57 年 (1982) 10 月	厚生省食品衛生監視員事務所那覇駐在所を那覇検疫所組織に統合、衛生課は、衛生・食品監視課となる。
昭和 59 年 (1984) 4 月	石垣出張所に専任出張所長を配置し、職員 2 名体制とする一方、平良出張所を無人化して、石垣出張所管轄とした。
昭和 60 年 (1985) 4 月	統括食品監視官の新設により衛生・食品監視課は衛生課と統括食品監視官に分離
昭和 60 年 (1985) 7 月	石垣出張所を石垣港ターミナルビルから石垣港湾合同庁舎へ移転。
昭和 62 年 (1987) 12 月	検疫艇「かりゆし」就航
平成 3 年 (1991) 10 月	那覇空港支所に食品等の輸入届出窓口を開設 空港支所と本所の担当区域が変更される 検疫衛生課は検疫衛生・食品監視課となる。
平成 4 年 (1992) 10 月	平良出張所を平良港湾合同庁舎へ移転。
平成 9 年 (1997) 2 月	那覇検疫所統括食品監視官を廃止し、衛生・食品監視課となる。那覇空港支所を那覇空港検疫所支所に改称
平成 12 年 (2000) 4 月	那覇検疫所那覇空港検疫所支所の事務室、検査室が新事務棟へ移転
平成 12 年 (2000) 6 月	那覇空港国際線旅客検査施設増改築工事 竣工
平成 13 年 (2001) 1 月	省庁再編により厚生省から厚生労働省と省名変更
平成 17 年 (2005) 4 月	次長制新設、検疫課は検疫衛生課、衛生・食品監視課は食品監視課となる。
平成 17 年 (2005) 9 月	輸入動物届出審査業務開始
平成 18 年 (2006) 4 月	食品衛生専門官が配属され、監視課員が 4 名となる。
平成 19 年 (2007) 4 月	食品監視課に輸入食品相談指導室が設置され、輸入食品相談指導室長が配属される。食品衛生専門官が監視指導係長を併任
平成 19 年 (2007) 11 月	那覇港 (泊ふ頭地区) 大型旅客船バース 起工
平成 20 年 (2008) 10 月	那覇空港新貨物ターミナル 起工
平成 21 年 (2009) 9 月	那覇港 (泊ふ頭地区) 大型旅客船バース 供用開始
平成 21 年 (2008) 10 月	那覇空港新貨物ターミナル 完成
平成 21 年 (2008) 10 月	那覇空港に国際貨物便 初便
平成 23 年 (2011) 3 月	検疫艇「かりゆし」売払・譲渡
平成 23 年 (2011) 8 月	那覇港と那覇空港を結ぶ「那覇うみそらトンネル」が開通
平成 24 年 (2012) 4 月	食品衛生専門官の監視指導係長の併任解除 平良出張所の業務を石垣出張所から那覇検疫所本所へ移管。
平成 26 年 (2014) 2 月	那覇空港新国際線ターミナル及び那覇空港 LCC ターミナルビル内国際線施設の供用開始
平成 26 年 (2014) 4 月	那覇港泊 8 号旅客船専用バースの供用開始
平成 27 年 (2015) 4 月	那覇空港検疫所支所に空港検疫管理官が就任

平成 27 年 (2015) 10 月	那覇空港検疫所支所内に予防接種室を開設し、業務を開始する。 それに伴い那覇検疫所本所診療室を休診とする。
平成 28 年 (2016) 2 月	石垣出張所に医療職(看護師)を配置
平成 28 年 (2016) 4 月	那覇検疫所検疫衛生課に検疫衛生課長補佐が就任 併せて検疫衛生課に機動検疫係が、食品監視課に調査係が設置される。
平成 28 年 (2016) 6 月	那覇空港検疫所支所内の宿直室を整備し、宿直勤務を開始する。
平成 28 年 (2016) 10、11 月	那覇空港検疫所支所に計 3 名の事務官の増員が図られる。
平成 28 年 (2016) 12 月	本所、支所 2 か所あった試験検査室を支所に統合するとともに本所施設を廃止。
平成 29 年 (2017) 1 月	那覇空港 C I Q ビル拡張に関して、国土交通省と厚生労働省間で検疫所施設拡張に係る基本合意がなされる。(平成 32 年度供用開始予定)
平成 29 年 (2017) 1 月	平良港湾合同庁舎から平良合同庁舎へ移転する手続き及び整備を開始。
平成 29 年 (2017) 9 月	平良出張所を平良地方合同庁舎へ移転。
平成 31 年 (2019) 4 月	平良出張所を有人化し職員 4 名体制とする。